

料金別納郵便



陶工房 旂 食のうつわ展 ^{ゆう}V

令和5年8月22日(火)~28日(月) 会期中無休

開廊時間: 午前11時~午後7時(最終日28日は午後5時まで)

作家在廊日: 22日(火)~25日(金)/陽作、25日(金)~28日(月)/周作

■ 処暑の茶会のご案内 [席主: 金重周作・陽作]

日時: 8月25日(金) 11時、13時席入

場所: 新宿 京懐石 柿 傳 (東京都新宿区新宿3-37-11 安与ビル) 会費: 5,000円(税込)

受付・寄付 [安与ホール/7階] → 薄茶席 [残月亭/9階] → 点心席 [古今サロン/6階]

申込: 参加ご希望の方は、下記のお電話かメール又は下のQRコードからお申し込み下さいませ。

まだ涼しかった水無月の一、西に向かいました。備前焼の金重周作さんと陽作さんのご兄弟を訪ねるためです。岡山空港で車を拝借し、一路、備前市伊部へ、アクセルペダルを踏み込みました。急な土砂降りの中、笑顔で出迎えてくださったお二人と再会を祝し、「安田さん、こちらへ」と美しい庭にいざなわれると、なんと可憐なささゆりが出迎えてくれました。「一輪だけ咲いてくれました」とはにかむ周作さん。ささゆりを臨む縁側で、奥様お手製の美味しい水無月を頂き、彼らの茶盤で一服頂戴して、心も緩み、そして、心も和みました。

陶工房 旂 (旧・遊工房) は、備前焼の名工、金重有邦さんのご子息である周作さん陽作さんご兄弟と、お弟子の齋藤理さんの三人で、12年前に立ち上げられた備前焼の工房です。昨年、齋藤さんは、はれて独立され、現在は、ご兄弟お二人で、仲睦まじく制作に勤まられています。

さて、早いもので、弊廊で5回目となる本展では、使い心地抜群な最新作の食のうつわや、昨今ますます風格をました茶碗などの茶陶を発表致します。さらに、念願だった彼らの茶会も弊廊上の新宿柿傳の茶室で開催いたします。かつて水屋をご一緒させて頂いた事もあるのですが、お二人の見事な立ち居振る舞いとその心配りに感じ入りました。茶の湯の道をまっすぐに、そして確実に歩まれているお二人です。どうぞご参会いただければと存じます。残暑も和らいで欲しい処暑の候ですが、どうぞ金重兄弟に忌憚のないご指導を頂ければ嬉しいです。

店主 安田尚史

柿傳ギャラリー

KAKIDEN GALLERY

160-0022 東京都新宿区新宿3-37-11 安与ビルB2階
03-3352-5118 gallery@kakiden.com

8/25 処暑の茶会
申込ページ



お手間で恐縮ですが、弊廊ホームページや公式SNSにて、最新情報をご確認頂ければ助かります。

